

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りについての知識・経験・体制等が不足している。 重度化や新型コロナウイルス感染症に対することも含めて体制を整える必要がある。	重度化・看取り(終末期)に関する新しい知識と技術の習得、職員間の意思統一。	終末期・看取りに関する研修の実施。 痰吸引等の資格取得に関する支援。	5ヶ月
2	35	新型コロナウイルス感染症のこともあり、防災訓練(避難訓練)の実施が難しい。 感染症も含めた新たな防災計画(BCP計画)の策定も必要となっている。 避難場所とともに備蓄の確保も必要。	施設の防災・感染症を含めた非常時の対応について職員の意思統一と、BCP計画作成をすすめる。	避難場所と備蓄場所・物品について改めて確認する。 防災・非常時の職員の対応について研修を実施する。 引き続き、周囲(地域・他事業所・機関等)との関係作りもすすめる。その一環として、通信(近況)の発行に努める。	6ヶ月
3	1	「理念」について、職員の認識が薄くなっていると思われる。認知症に対する施策・ケアが重視されていく中で改めて認知症グループホームとしての理念を考える必要がある。	「あい」の理念について、改めて考えるとともに、利用者への対応についても考えることで、よりよいケアにつなげていきたい。	「ゆっくり、いっしょに、楽しく、心地よい居場所を作る」ということの意味について意見交換をする機会を作る(継続して実施できるようにする)。 入居者も一緒に理念について考えてみる、書き出してみるなど。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。